

なばりがわ

名張川（名張地点）の洪水被害を軽減

淀川水系名張川の水資源機構の管理する名張川上流3ダム（青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダム）流域では、前線による降雨により、6月1日23時から6月3日8時までの総雨量が青蓮寺ダム流域で172mm、室生ダム流域で209mm、比奈知ダム流域で162mmを記録しました。

この洪水に対して、室生ダムでは、ダム下流で浸水被害の恐れがあったため、防災操作を実施し、ダムに約232千立方メートルを貯留しました。これにより、ダム下流の名張地点において水位を約0.15m（推定）低減し、下流沿川の洪水被害軽減に努めました。

※『防災操作』とは、大雨などによりダム湖に流れ込む洪水の一部を貯水池に貯め込み、洪水を小さくして、ダム下流の河川に流すことを言います。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査等により数値等が変わることがあります。

令和5年6月7日



独立行政法人水資源機構
木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

名張市政記者クラブ
桜井市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長 梶谷
住 所：三重県名張市下比奈知2811-2
電 話：（0595）64-8961（代表）

名張川（名張地点）の洪水被害を軽減 ～前線に伴う室生ダムの防災操作～

6月1日22時頃より降り始めた前線による降雨は、淀川水系名張川の3ダムでは、室生ダム（奈良県宇陀市）流域で、6月2日7時から8時までの1時間の雨量が最大23mmを記録するなど、下表のような降雨がありました。

降雨状況

	青蓮寺ダム	室生ダム	比奈知ダム
降雨があった期間	6月1日23時～3日0時	6月1日22時～3日2時	6月1日22時～3日2時
総雨量	172mm	209mm	162mm
最大時間雨量	17mm(2日12時～13時)	23mm(2日7時～8時)	14mm(2日13時～14時)

この降雨による出水に対して、各ダムへの流入量が増加し、ダム下流沿川の洪水被害を軽減するため、室生ダムでは防災操作を行いました。

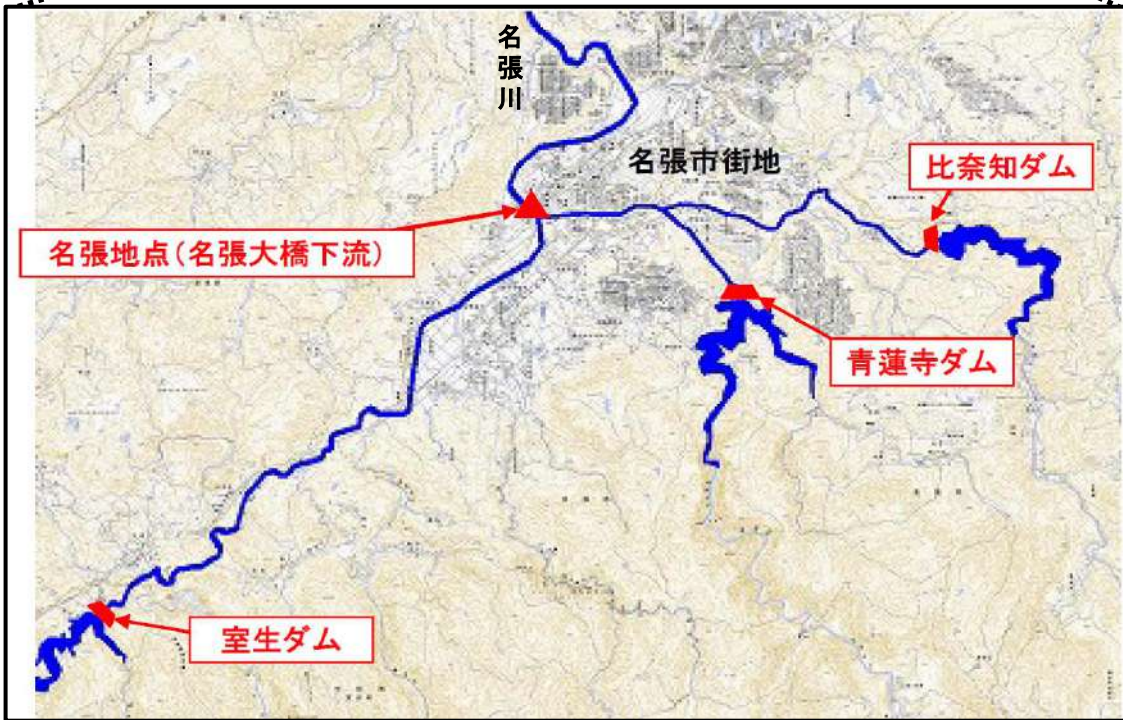
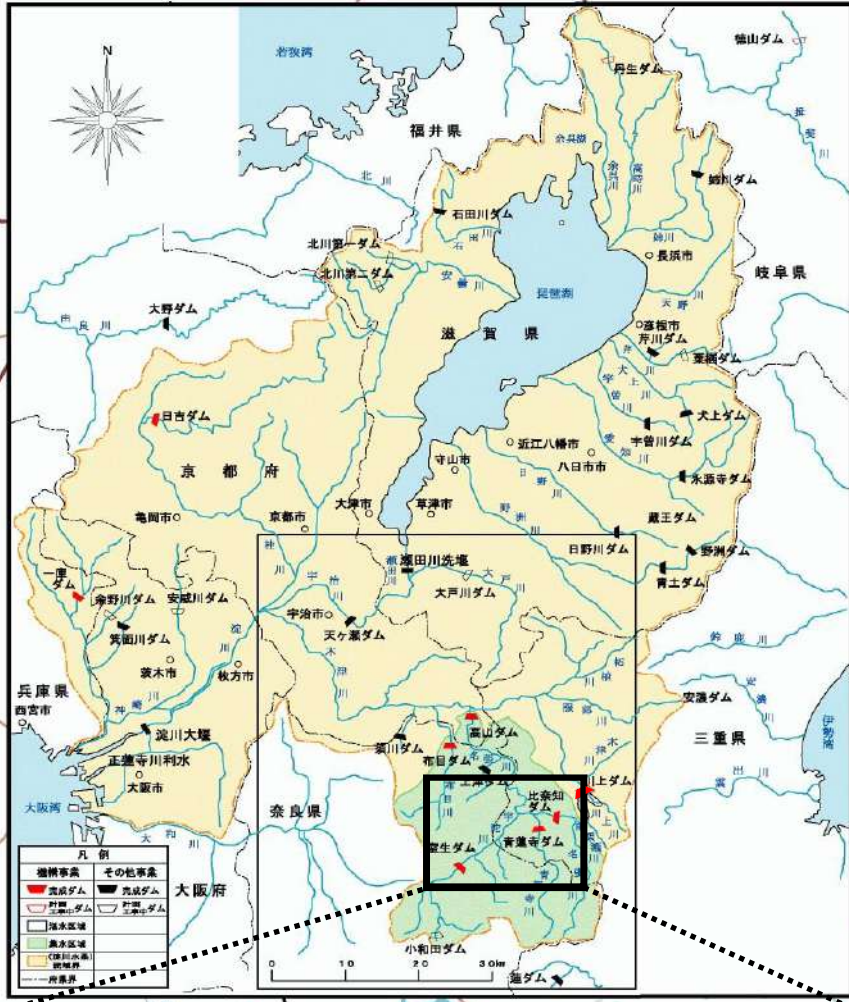
ダム下流の名張水位観測所では、室生ダムの防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を約0.15m低減できたことが推定され、下流の洪水被害軽減を行いました。

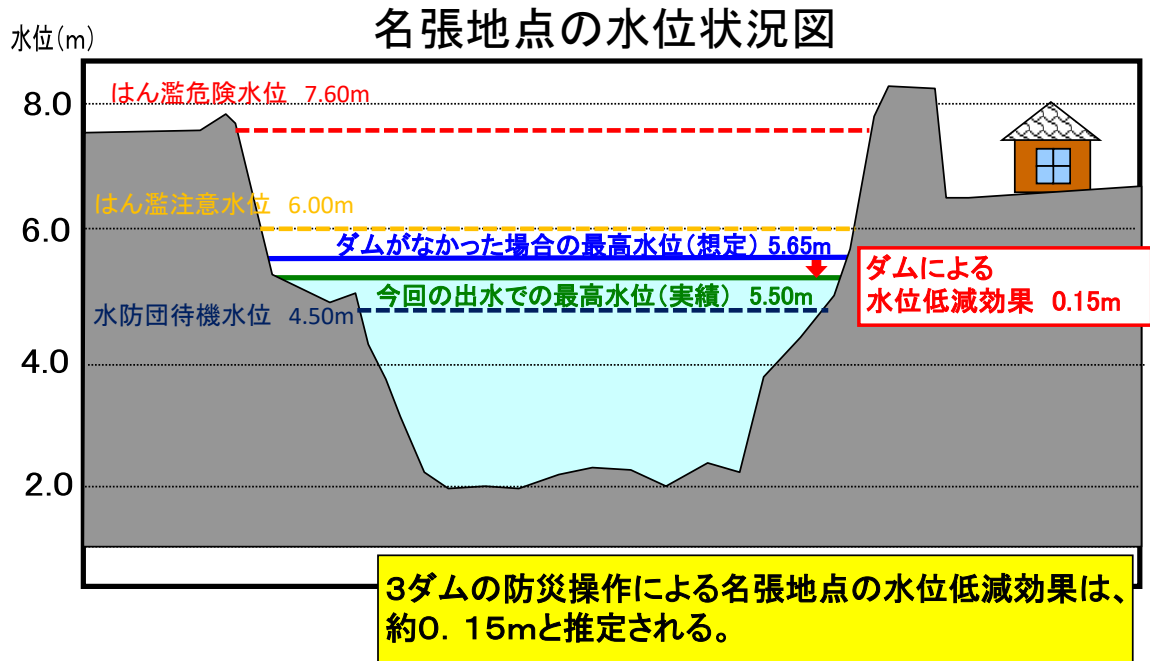
青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

（参考）これまでの各ダムの管理開始以降の最大出水記録

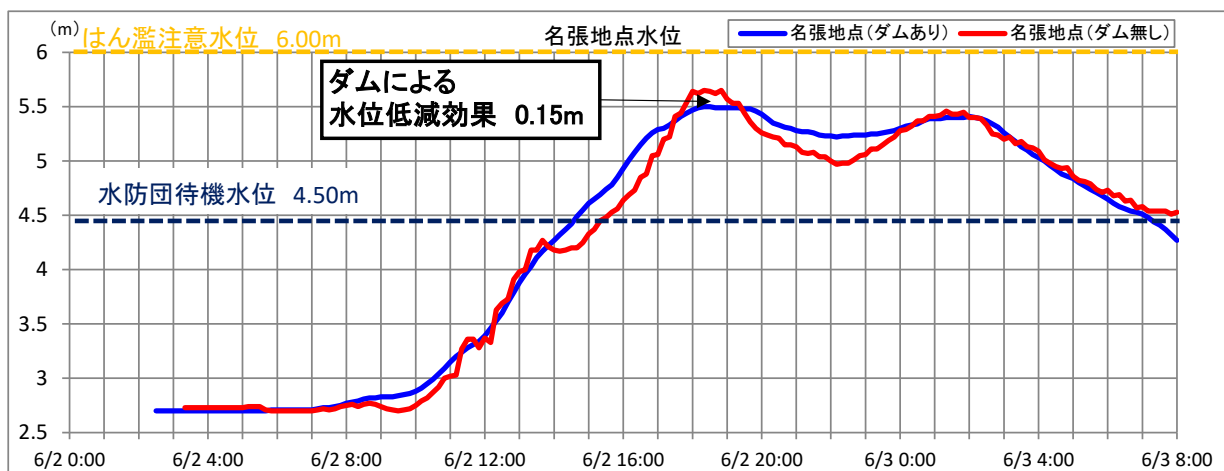
ダム名	記録年月日(原因)	総雨量	最大流入量
青蓮寺ダム	H6.9.27(台風26号)	350mm	毎秒827m ³
室生ダム	S57.7.31(台風10号)	432mm	毎秒640m ³
比奈知ダム	H16.8.5(台風11号)	323mm	毎秒551m ³

名張川上流3ダム位置図

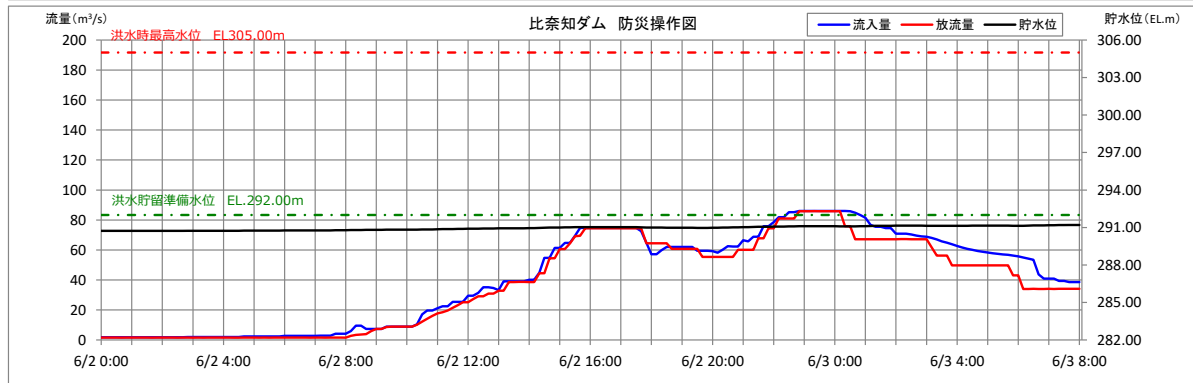
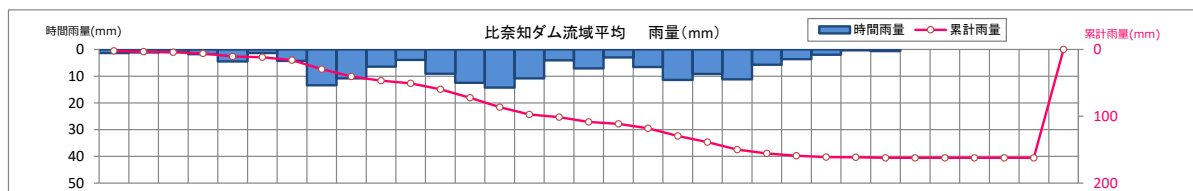
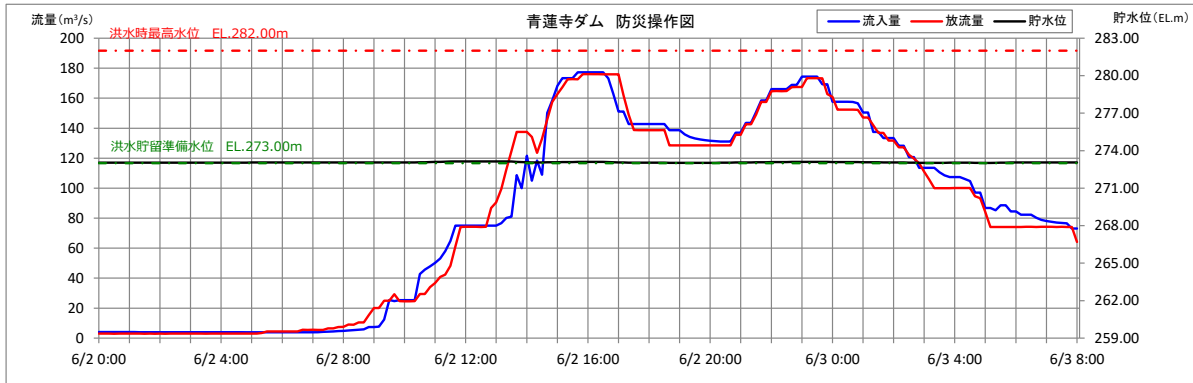
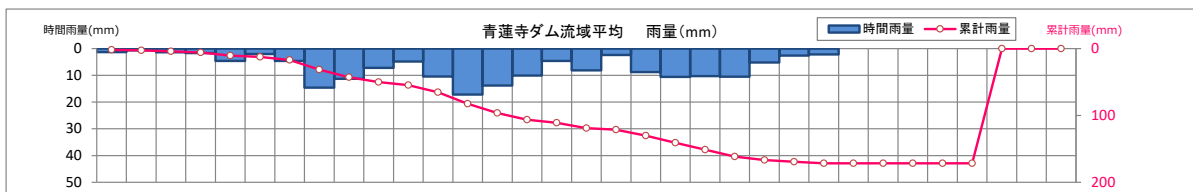
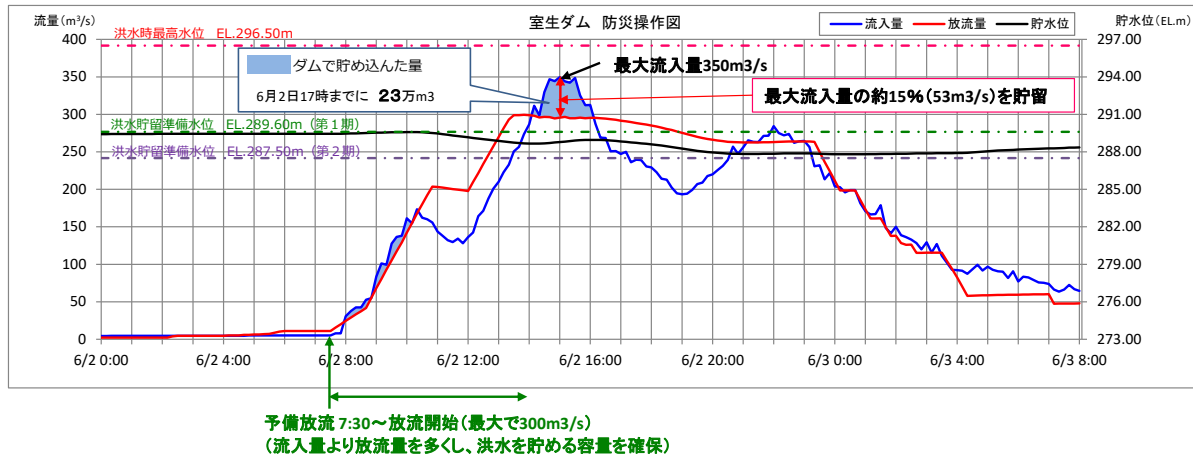
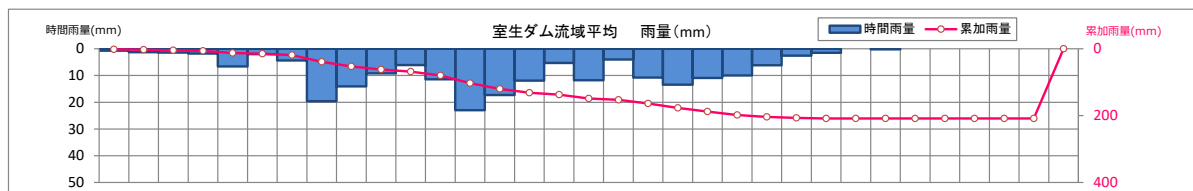




名張川下流河川状況



名張川上流3ダム（比奈知ダム、青蓮寺ダム、室生ダム）の防災操作



青蓮寺ダム概要

【ダムの諸元】

ダム型式	: アーチ式コンクリートダム
堤体積	: 約175 千 m^3
堤高	: 82.0 m
堤頂長	: 275.0 m
流域面積	: 100 km^2
湛水面積	: 1.04 km^2
管理開始	: 昭和45年7月

【ダムの目的】

1. 洪水調節

貯水池に洪水を貯留することにより、下流河川での水位上昇を抑え、下流沿川地域の洪水被害を軽減する。

2. 不特定かんがい等

名張地区の既得用水および木津川沿岸の既得用水所要量を補給するとともに、河川管理上必要な流量を確保する。

3. 水道用水

阪神地区の水道用水として、 $2.3\text{m}^3/\text{s}$ 、名張市の水道用水として、 $0.19\text{m}^3/\text{s}$ を供給する。

4. 特定かんがい

青蓮寺用水として、最大 $1.60\text{m}^3/\text{s}$ を取水可能とする。

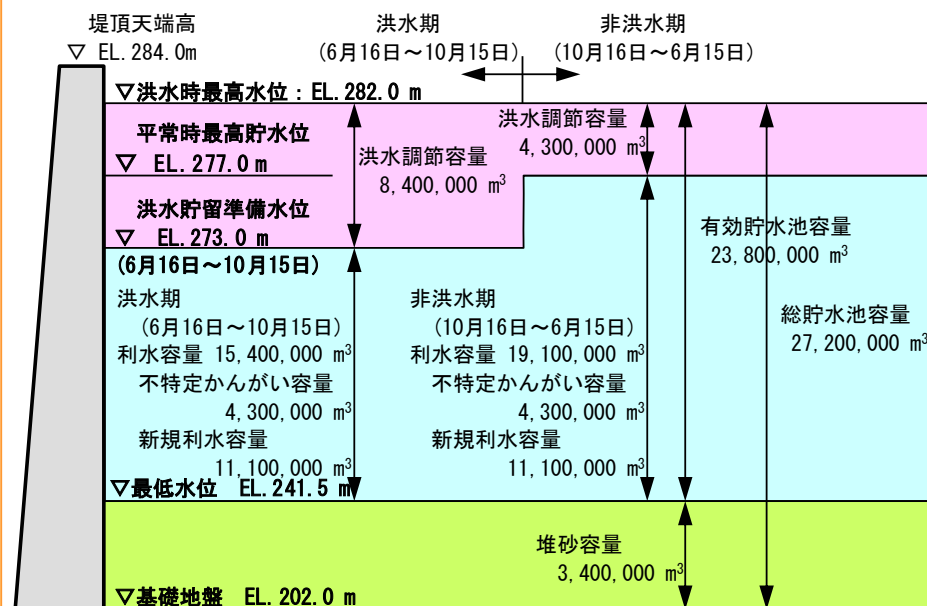
5. 発電

中部電力が管理する青蓮寺発電所※で、最大出力2,000kWの発電を行う。(最大使用水量 $3.9\text{m}^3/\text{s}$)

※ 平成25年4月に三重県企業庁から中部電力に譲渡された。



青蓮寺ダム貯水池容量配分図



室生ダムの概要

■室生ダムの諸元

ダム型式：重力式コンクリートダム

堤体積：約153千 m^3 堤高：63.5m

堤頂長：175.0m 管理開始：昭和49年4月

湛水面積：1.05 km^2 竣工：昭和49年度



■室生ダムの目的

1. 洪水調節

洪水被害を軽減するため、最大300 m^3/s を放流する。

2. 不特定かんがい等

宇陀川筋の既得用水の補給を行うとともに、下流河川の環境保全等のための流量を確保する。

3. 水道用水

大和平野の諸都市に対して最大1.6 m^3/s を供給する。

■貯水池容量配分図



比奈知ダム概要

■比奈知ダムの諸元

ダム型式：重力式コンクリートダム

堤体積：約426千 m^3 堤高：70.5m

堤頂長：355.0m 管理開始：平成11年4月

湛水面積：0.82 km^2 竣工：平成10年度



比奈知ダム全景

■比奈知ダムの目的

1. 洪水調節

名張川及び淀川治水の一環として、ダム地点における計画高水流量1,300 m^3/s のうち700 m^3/s をダムに貯留し、600 m^3/s をダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

名張川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 水道用水

名張市に最大0.3 m^3/s 、京都府に最大0.6 m^3/s 、奈良市に最大0.6 m^3/s を供給する。

4. 発電

ダムから放流される水(最大使用水量3.7 m^3/s)を利用し最大出力1,800kWの発電を行う。

■貯水池容量配分図

